

委員からの質問・意見（新規）

委員から文書で提出のあった質問・意見は添付のとおりです。

目次

(1)	道津 靖子 委員提出	2
(2)	神田 京子 委員提出	4

山里中央自治会班長会（7/23 開催）で、6/28 開催の第 41 回地域連絡協議会での議事を説明し、班長さん達からの意見をまとめました。

① BSL-4 で「軍事目的の利用は大学として認めない」こと

軍事などの研究を受け入れない規程を明示し、長崎大学学長宣言として BSL-4 施設の玄関と BSL-4 施設に隣接した新しい研究棟の玄関に大きく掲示してあったことを説明した。

→大学側の対応が適切で以外にも迅速だったので、ほっとされていた。

大学は、この規定に則り、各研究計画書の審査において厳格な審査を行ってほしい。

② 実験情報開示フォーム

実験情報の開示にあたり、実際のウイルス名を明記する。

また、今後の研究予定の項目には、研究や実験が今後どのような形で医学や人類に貢献できるかとかの展望も記述することを安田先生が約束してくれましたと説明した。

→肝心なところは黒塗りなのではと心配されていたが、安田先生の回答を聞いてほっとされていた。透明性のある運営であってほしいと願うとも言われていた。

③ 有害事象が起こった場合の住民へ伝達を行う目安について

例えば病原体への暴露事故が発生した時、感染が確認される前に、まず第一報として自治会長・連合会長に連絡が来る。その後感染が確認されたら、第二報として皆さんにもお知らせする。第一報を受けた自治会長の動きや、行政の対処の仕方、大学から判断できる材料不足など様々な意見がでたことを説明した。

→伝達方法・手段は議論の途中であろうが、「病原体の暴露が発生」と

「病原体の紛失等が発生」時には、住民も第一報を行う対象にしてほしい、という意見あった。

④ テロ対策

住民への配布資料の中に、「テロ対策」の項目が無いのは、対策していないのかと不安。

対策は見せれない（記載出来ない）のは理解できるが、「テロ対策」は色々ちりばめているとアピールしたほうが良い。

以上

前回の第41回地域連絡協議会でご説明いただきましたように、その後もハード・ソフトともに基盤が整った状況で、安全管理に関わる事項について、検証を行っていることと思います。

実験を行う研究者については、受け入れ・実験中の行動について、様々な要件を満たすことが条件となっておりますが、実験室内の動物の管理、室内清掃、防護服のクリーニング、ヘパフィルターの交換等の場合については具体的な内容がはっきりと示されていません。

全体的にはこの数年の間に様々な対応予定について説明をいただいておりますが、現時点において決定している詳細についてご説明をお願い致します。

（1）実験室内の動物について、誰が何時どのように行いますか？

- ・ 実験前後の動物とケージの清掃
- ・ 糞尿の処理
- ・ 室内の清掃

（2）防護服について

- ・ 着用後、破れ等による不具合点をどのようにして確認するのですか。
- ・ 不具合が見つかった場合は、誰がどのようにして修復するのですか。
- ・ 着用後のクリーニングについては、どのような状態で業者に引き渡すのですか。

（3）ヘパフィルターについて

- ・ 交換時期のサインはどのようにして行われるのですか。
- ・ 交換時の取扱い業者は、訓練をうけるのですか。
- ・ 交換後のフィルターは取扱業者が廃棄するのですか。

（4）実験室からの廃棄物処理については、専門業者が行うとのことですが、処理完了の確認は業者からのマニフェストだけですか。

廃棄状況の写真では行わないのですか。

以 上